

NYマーケットレポート (2015年11月5日)

NY市場では、序盤に発表された米雇用関連の経済指標がまちまちの結果となったことから、ドルはやや上値の重い動きとなった。ただ、米雇用統計の内容を見極めたいとの様子見ムードも強く、限定的な動きとなった。その後、米株価が下げ幅を拡大する動きとなったことを受けて、ドル円・クロス円はやや軟調な動きとなった。一方、英中銀の政策決定会合で政策金利が据え置かれ、インフレレポートで物価見通しが下方修正されたことから、英国の利上げ観測が後退したとの見方が広がり、英ポンドは主要通貨に対して大きく売られる動きとなった。ポンド/円は、発表直前の187.71から184.98まで下げる動きとなった。

2015/11/5 (木)

TOKYO				LONDON		
	東京終値	東京高値	東京安値		LD高値	LD安値
USD/JPY	121.80	121.85	121.39	USD/JPY	122.01	121.63
EUR/JPY	131.97	132.15	131.86	EUR/JPY	132.71	131.97
GBP/JPY	187.36	187.45	186.75	GBP/JPY	187.71	186.00
AUD/JPY	86.82	86.95	86.61	AUD/JPY	87.18	86.78
EUR/USD	1.0837	1.0877	1.0833	EUR/USD	1.0893	1.0836

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価			欧州主要株価		
	終値	前日比		終値	前日比
日経平均	19116.41	+189.50	英FT100	6364.90	-47.98
ハンセン指数	23051.04	-2.53	仏CAC40	4980.04	+31.75
上海総合	3522.82	+63.18	独DAX	10887.74	+42.50
韓国総合指数	2049.41	-3.36	ST欧州600	378.76	-1.52
豪ASX200	5192.97	-49.32	西IBEX35指数	10431.20	-42.30
インドSENSEX指数	26304.20	-248.72	伊FTSE MIB指数	22223.70	-88.93
シンガポールST指数	3023.65	-16.83	南ア 全株指数	54073.01	-536.00

NEW YORK				米主要株価		
	NY終値	NY高値	NY安値		終値	前日比
USD/JPY	121.75	121.91	121.53	米ダウ平均	17863.43	-4.15
EUR/JPY	132.46	132.72	131.99	S&P500	2099.93	-2.38
GBP/JPY	185.14	186.35	184.98	NASDAQ	5127.74	-14.74
AUD/JPY	86.98	87.31	86.78	その他主要株	終値	前日比
NZD/JPY	80.46	80.86	80.42	トロント総合	13558.78	-103.04
EUR/USD	1.0881	1.0898	1.0858	ボルサ指数	45195.65	-177.52
AUD/USD	0.7145	0.7170	0.7137	ボベスパ指数	48046.76	+336.66

11/6 経済指標スケジュール	
08:50	【日】10月対内外証券投資
14:00	【日】9月景気一致CI指数
14:00	【日】9月景気先行CI指数
15:00	【南ア】10月外貨準備高
16:00	【独】9月鉱工業生産
16:45	【仏】9月財政収支
16:45	【仏】9月貿易収支
18:00	【ノルウェー】9月鉱工業生産
18:30	【英】9月鉱工業生産
18:30	【英】9月製造業生産高
18:30	【英】9月商品貿易収支
22:30	【米】10月失業率
22:30	【米】10月非農業部門雇用者数
22:30	【カナダ】10月失業率
22:30	【カナダ】10月雇用ネット変化率
23:00	【メキシコ】10月消費者信頼感指数
00:00	【英】10月NIESR GDP予想
05:00	【米】9月消費者信用残高

コモディティ		
	終値	前日比
NY GOLD	1104.20	-2.00
NY 原油	45.20	-1.12
CME コーン	374.50	-6.00
CBOT 大豆	864.00	-20.00

米國債利回り		
	本日	前日
2年債	0.84%	0.81%
3年債	1.15%	1.14%
5年債	1.64%	1.63%
7年債	2.00%	1.99%
10年債	2.24%	2.23%
30年債	3.01%	2.99%

11/6 主要会議・講演・その他予定	
・	黒田日銀総裁 講演
・	ブレイナードFRB理事 討論会
・	セントルイス連銀、SF連銀総裁 講演

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

欧州タイム

21 : 00

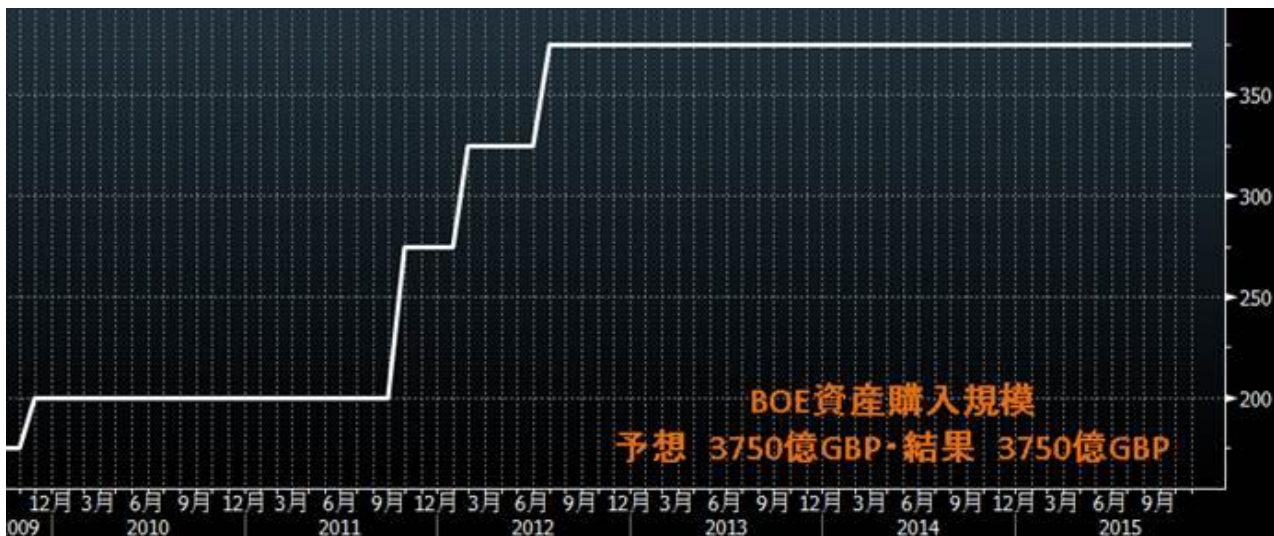
◀ 経済指標の結果 ▶

英中銀 政策金利 0.50% (予想 0.50%・前回 0.50%)

BOE 資産購入規模 3750 億 GBP (予想 3750 億 GBP・前回 3750 億 GBP)



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

21 : 05

◀ MPC 議事要旨 ▶

- ・「11月の英中銀金融政策委、0人が利下げ支持」
- ・「11月の英中銀金融政策委、1人が利上げ支持」
- ・「11月の英中銀金融政策委、8人が金利据え置き支持」
- ・「マカファーティ委員が0.75%への利上げを主張」

英中銀インフレ報告

- ・「2016 年下期まで CPI インフレ率は 1%を下回る見通し」
- ・「2 年後の CPI インフレ率は 2.1%見通し（前回は 2.0%）」
- ・「市場金利想定は 2017 年第 1 四半期の最初の利上げに基づく（前回は 16 年第 2 四半期）」
- ・「2015 年第 4 四半期成長率は前四半期比+0.6%、第 3 四半期は+0.6%に上方修正の見込み」



(出所：ネットダニア)

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

10 月米チャレンジャー人員削減数（前年比） -1.3%（前回 93.2%）



(出所：ブルームバーグ)

指標結果データ

《チャレンジャー人員削減数》

10月・・・9月・・・8月・・・7月・・・6月・・・5月
 合計・・・50,504・・・58,877・・・41,186・・・105,696・・・44,842・・・41,034
 増減・・・-8,373・・・17,691・・・-64,510・・・60,854・・・3,808・・・-20,548
 前年比(%)・・・-1.3・・・93.2・・・2.9・・・125.4・・・42.7・・・-22.5

東部・・・6,437・・・4,120・・・12,726・・・63,858・・・15,917・・・17,706
 中西部・・・13,472・・・13,100・・・12,304・・・7,079・・・23,321・・・7,886
 西部・・・23,644・・・35,484・・・8,962・・・30,037・・・3,592・・・9,801
 南部・・・6,951・・・6,173・・・7,194・・・4,722・・・2,012・・・5,641

22:00

ドル/円 121.89 ユーロ/円 132.59 ユーロ/ドル 1.0879

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6313.28	+0.40	ダウ 先物ミニ	17859	+72
仏 CAC40	5003.36	+55.07	S&P 500 ミニ	2103.75	+9.00
独 DAX	10949.62	+104.38	NASDAQ 100 ミニ	4725.00	+15.50

(出所:SBILM)

22:25

《 要人発言 》

カーニー英中銀総裁

- ・「英中銀は、金利めぐる決定は毎月行う」
- ・「金利決定は年末年始にかけより明確になるとの発言は、後悔していない」
- ・「市場の金利見通し、金融政策委の望む方向反映せず」
- ・「1年以内に金利上昇すると3分の2が見通していることは理にかなう」

22:30

《 経済指標の結果 》

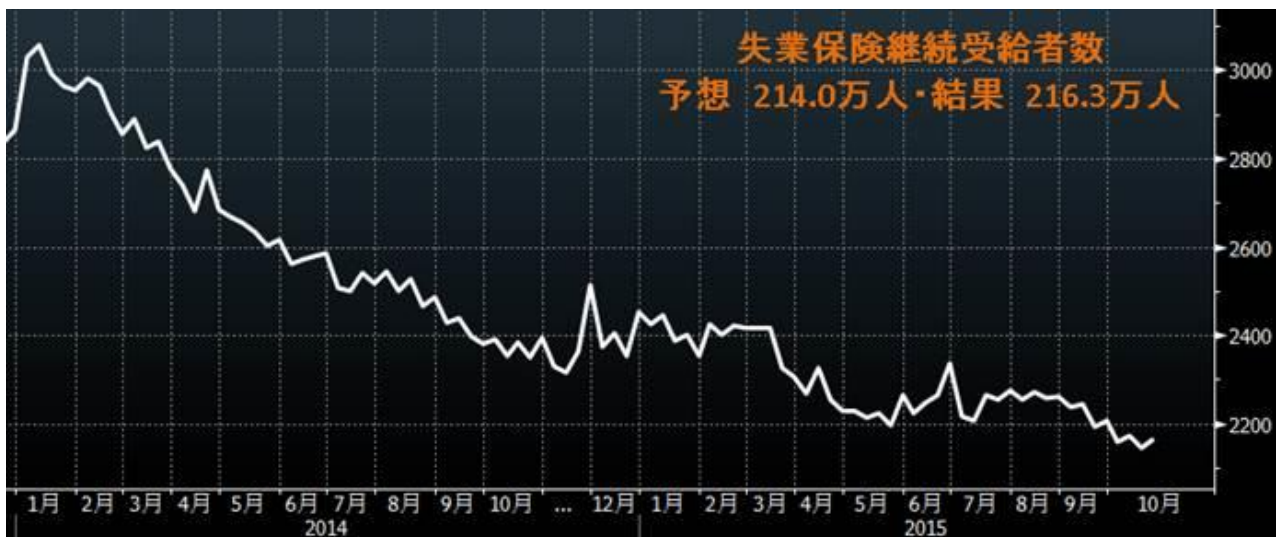
新規失業保険申請件数 27.6万件(予想 26.2万件・前回 26.0万件)

失業保険継続受給者数 216.3万人(予想 214.0万人・前回 214.6万人)

前回発表の214.4万人から214.6万人に修正



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

	申請件数	前週比	4週移動平均	受給者数	受給者比率
15/10/31	276,000	+16,000	262.750	*****	*****
15/10/24	260,000	+1,000	259.250	2,163,000	1.6%
15/10/17	259,000	+3,000	263.250	2,146,000	1.6%
15/10/10	256,000	-6,000	265.250	2,172,000	1.6%
15/10/03	262,000	-14,000	267.250	2,165,000	1.6%
15/09/26	276,000	+9,000	270.500	2,209,000	1.6%
15/09/19	267,000	+3,000	271.750	2,195,000	1.6%
15/09/12	264,000	-11,000	272.500	2,244,000	1.7%
15/09/05	275,000	-6,000	275.750	2,243,000	1.7%

受給者数は集計が1週間遅れる

22:30

《 経済指標の結果 》

3Q 米非農業部門労働生産性 (前期比年率) 1.6% (予想 -0.3%・前回 3.5%)
 前回発表の3.3%から3.5%に修正



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

≪非農業部門労働生産性指数≫

	7-9 速報	4-6	1-3	10-12	7-9	4-6
非農業部門労働生産性指数	1.6	3.5	-1.1	-2.2	3.1	2.8
生産	1.2	5.1	0.5	2.6	5.5	5.4
労働総投入量	-0.5	1.5	1.6	4.9	2.3	2.5
時間あたり給与	3.0	1.7	1.1	3.4	3.2	-0.8
実質給与	1.4	-1.2	4.6	4.2	2.0	-3.1
単位あたり労働コスト	1.4	-1.8	2.6	5.7	0.1	-3.5
単位あたり非労働コスト	0.1	8.0	-2.2	-8.1	4.1	9.5
価格指数	0.8	2.3	0.5	-0.5	1.8	1.9

(前期比、年率%)

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	174869.38	+1.80
ナスダック	5144.04	+4.56

(出所：SBILM)

0 : 00

≪ 経済指標の結果 ≫

10月カナダ Ivey 購買部協会指数 53.1 (予想 54.0・前回 53.7)



(出所：ブルームバーグ)

《 経済指標のポイント 》

(1) 米失業保険申請件数は、市場予想の 26.2 万件を上回る前週比+1.6 万件 27.6 万件となり、3 週連続のプラスとなった。申請件数の 4 週移動平均は、前週比+3500 人の 26 万 2750 人。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+1.7 万人の 216.3 万人。受給者数の 4 週移動平均は、前週比-1 万 1500 人の 216 万 1500 人となり、2000 年 11 月 11 日までの週以来の低水準となった。受給者比率は前週比横ばいの 1.6%。

(2) 米 7-9 月期の非農業部門の労働生産性の速報値は、年率換算で前期比+1.6%と 2 四半期連続のプラス。4-6 月期の+3.5%から縮小したものの、市場予想の-0.3%に反し上昇した。生産が伸びる一方で労働時間が減り、生産性を押し上げた。

①賃金の指標である単位労働コストは、前期比+1.4%、前年同期比では+2.0%と昨年 10-12 月期以来の大きな伸びとなった。

②労働生産性では、生産が+1.2%、労働時間は-0.5%で 2009 年 7-9 月期以来の大きな減少。時間当たりの労働報酬は、名目ベースで前期比+3.0%、前年同期比では+2.4%。物価動向を考慮した実質ベースは前期比+1.4%、前年同期比では+2.2%。

③製造業の生産性は、前期比+4.9%と 2011 年 7-9 月期以来 4 年ぶりの高い伸び。生産が+2.7%、労働時間は-2.1%。前年同期比の生産性は+1.5%、生産が+1.8%、労働時間は+0.4%となった。

0 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、年内にも米利上げが行われるとの観測を警戒した売りが出る一方で、米企業の業績先行きを期待した買いも入り、主要株価は序盤から売り買いが交錯するもみ合いの展開が続いている。

1 : 05

《 要人発言 》

カーニー英中銀総裁

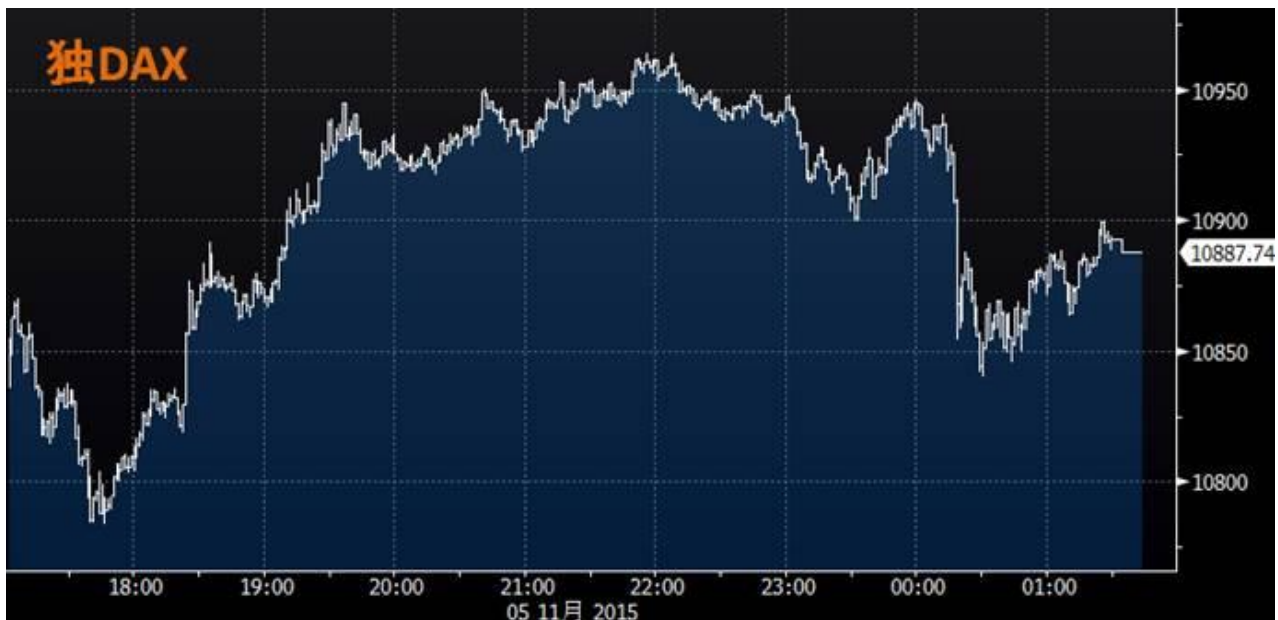
- ・「英政策金利が 2016 年に上がると考えるのは妥当」

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6364.90	-47.98
仏 CAC40	4980.04	+31.75
独 DAX	10887.74	+42.50
ストック欧州 600 指数	378.76	-1.52
ユーロファースト 300 指数	1495.00	-6.05
スペイン IBEX35 指数	10431.20	-42.30
イタリア FTSE MIB 指数	22223.70	-88.93
南ア アフリカ全株指数	54073.01	-536.00

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。英 FT100 は、鉱業株が売られたことで全体が押し下げられた。また、独 DAX は、好決算を発表したスポーツ用品大手が急伸し、ドイツ企業の業績先行き期待が広がった。



(出所: ブルームバーグ)

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 17852.94 (-14.64)、S&P500 2098.90 (-3.41) ナスダック 5123.58 (-18.90)

《NY債券市場・午前》

序盤のニューヨーク債券市場は、米FRBによる年内利上げに対する警戒感が強く、売りが先行した。米7-9月期の非農業部門の労働生産性が市場予想に反して上昇したことや、10月の米雇用統計が雇用の堅調な回復傾向を示すとの見方も相場を圧迫した。

午前の利回りは、30年債が3.01%（前日2.99%）、10年債が2.25%（2.23%）、7年債が2.00%（1.98%）、5年債が1.65%（1.63%）、3年債が1.15%（1.14%）、2年債が0.85%（0.81%）。

◀欧州のポイント▶

①英中銀は政策金利と MPC 議事録、四半期物価報告を発表。政策金利は過去最低の 0.50%で据え置き、資産購入規模も 3750 億 GBP で据え置いた。議事録によると、8 対 1 で政策金利据え置きが決定され、マカファーティ氏のみが 0.25%の利上げを主張した。そして、今年と来年の成長およびインフレ率の予想を下方修正した。成長率見通しは、2015 年が 2.7%、2016 年が 2.5%にそれぞれ引き下げ、2017 年は 2.7%に上方修正した。インフレ率予想は 2017 年 7-9 月について下方修正、2017 年 10-12 月に 2.1%に達し、その 1 年後は 2.2%前後と予想した。

②ECB の緩和政策や原油価格の下落が今年のユーロ圏成長を主導するものの、これらの好影響要因ははく落すとし、2016 年の成長率見通しは前回 5 月の 1.9%から小幅下方修正した。ユーロ圏 19 カ国の成長率には依然として差があるが、ギリシャを除いてプラス成長が見込まれている。昨年はキプロス、フィンランド、イタリアがマイナス成長だった。ドイツも成長が見込まれるが、前回予想からは下方修正された。ユーロ圏の経常黒字は、ドイツ主導で 2015 年も拡大するものの、その後 2 年は原油価格の回復で縮小するとの見方を示した。原油回復が物価上昇率の加速を促すとし、2015 年は 0.1%、2016 年は 1.0%との見通しを示した。財政面ではユーロ圏全般に改善を続けるが、フランスは EU の定める上限を 2017 年も上回ると指摘。また、イタリアの債務比率は国内総生産比で今年は 133%としている。

③ドラギ ECB 総裁は、現行の資産買い入れプログラムが世界経済の鈍化に対応可能か、買い入れ拡大が必要かどうかを次回の理事会で判断する方針を明らかにした。イタリアのミラノで開催されたイベントで「世界経済が鈍化する中、われわれは（買い入れプログラムが）中期的な物価安定を阻害する要因を防ぐのに効果的かどうかを分析する必要がある」と発言。「効果的でないと確信に至った場合は、目的を達成するために（プログラムを）強化する方法を検討することになる」と述べた。

④ノルウェー中銀は、政策金利を 0.75%で据え置いた。今後 1 年で利下げする可能性があるとの見解をあらためて示した。また、9 月以降の経済状況は見通しよりもやや幅弱いとの見方を示した。通貨クローネの為替レートについては、平均で 9 月の予測よりも弱いと指摘。会見したオルセン総裁によると、今回の会合では利下げは検討されなかったという。オルセン総裁は、「住宅価格の動向を注意深くみており、物価の伸びは抑制されると想定している。現在の価格は（予想に対し）下振れているようだが、結論付けるには時期尚早」と述べた。また中銀は、政府が 2016 年予算案を修正し、石油基金や対外援助予算を国内の難民対策に充てる方針を示したことについては、予想したよりも拡張的との見方を示した。

3 : 45

◀ 要人発言 ▶

ロックハート・アトランタ連銀総裁～講演テキスト

- ・「初回利上げの是非は、なお判断はきわどい」
- ・「初回利上げの論拠は強まり続けている」
- ・「初回利上げは、近く適切になるだろう」
- ・「初回利上げ後の調整は、非常に漸進的に」

4 : 30

NY 金は、中心限月が前日比 2.00 ドル安の 1 オンス=1104.20 ドルで取引を終了した。

5 : 20

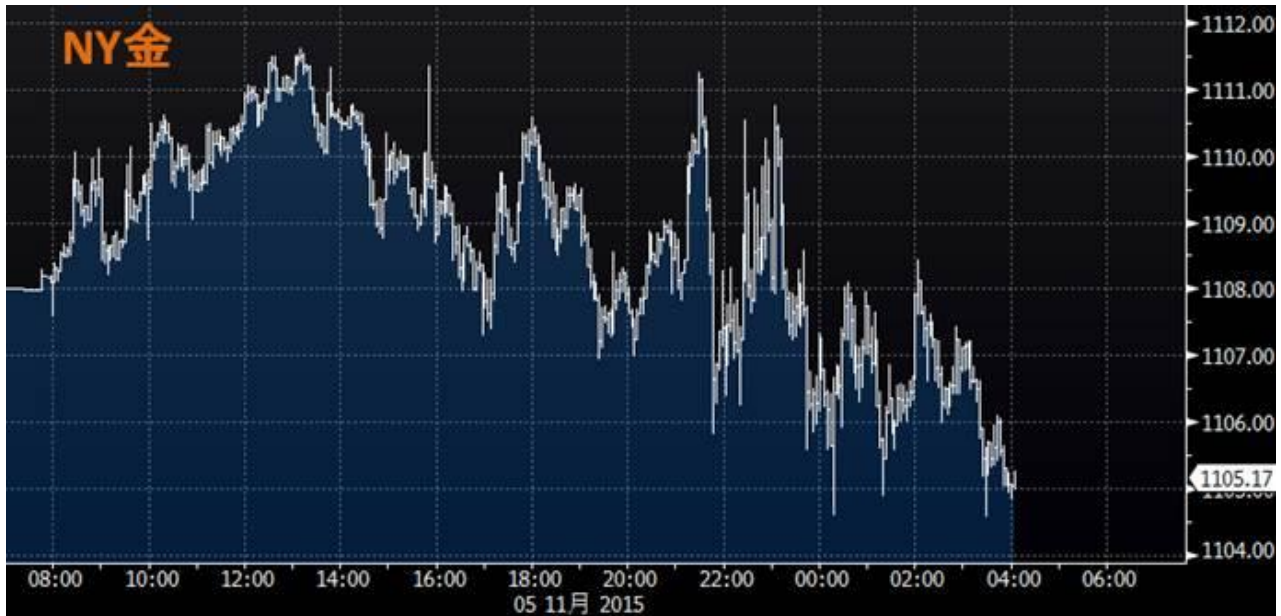
NY 原油は、中心限月が前日比 1.12 ドル安の 1 バレル=45.20 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1104.20	-2.00
NY 原油	45.20	-1.12

(出所: SBILM)

◀ NY 金市場 ▶

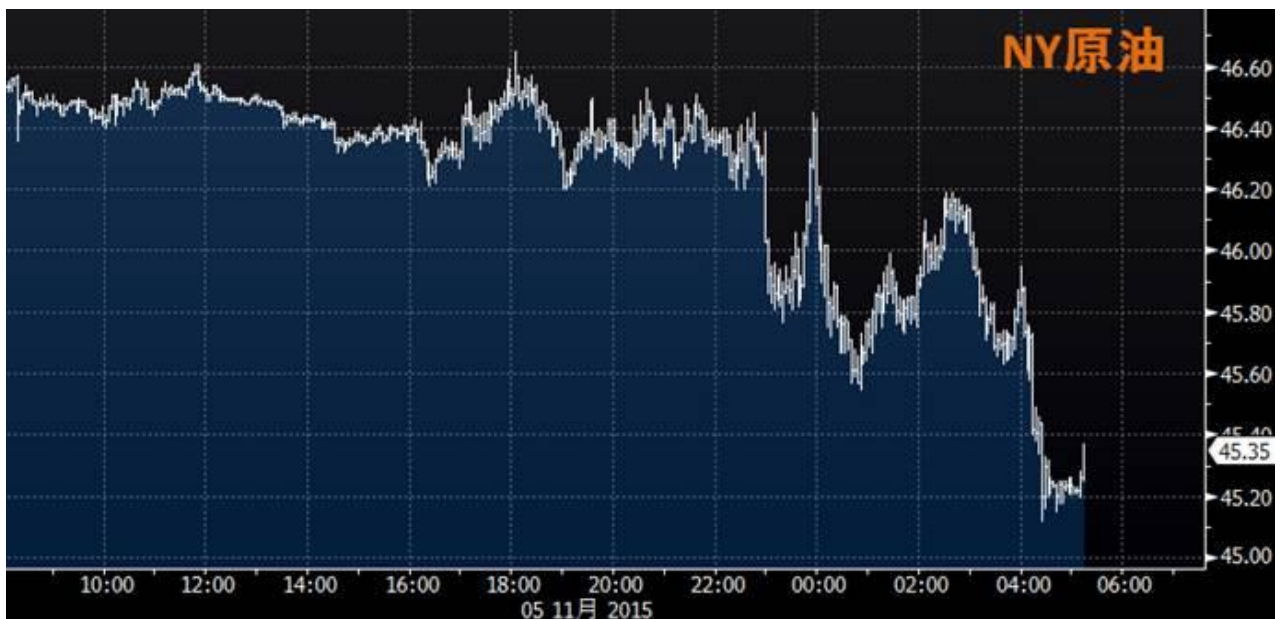
NY 金は、米 FRB が 12 月に利上げをする可能性があるとの警戒感が、引き続き圧迫要因となった。ただ、米雇用統計発表を控えて様子見ムードも強く、値動きは限定的だった。終値ベースでは、9 月中旬以来、約 1 カ月半ぶりの安値水準となった。



(出所：ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、前日発表された米原油在庫が市場の予想以上に増えたことが、引き続き売り材料となった。また、WTI 原油の引き渡し地点となる米オクラホマ州クッシングの在庫が増加したとの報道も圧迫要因となった。



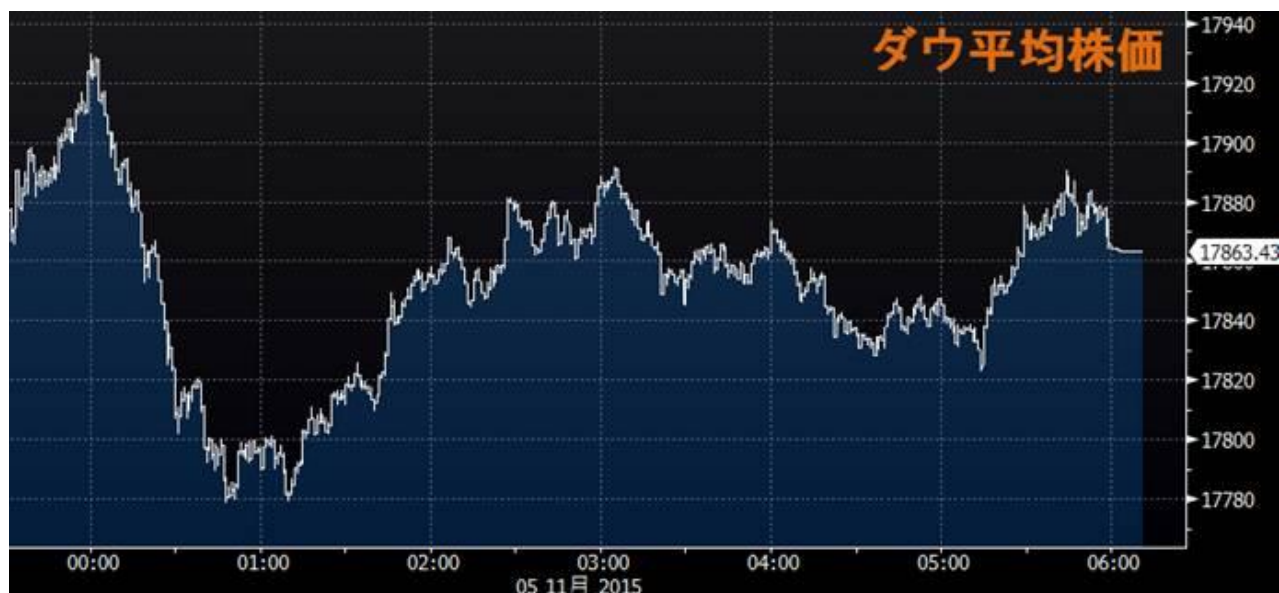
(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17863.43	-4.15	17929.51	17779.19
S&P500 種	2099.93	-2.38	2108.78	2090.41
ナスダック	5127.74	-14.74	5154.86	5098.49

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、年内にも米利上げが行われるとの観測を警戒した売りが出る一方で、米企業の業績先行きを期待した買いも入り、主要株価は序盤から売り買いが交錯するもみ合いの展開となった。その後は、下げ幅を拡大する場面もあったが、終盤には下げ幅を縮小する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤のもみ合いから一時軟調な動きとなり、前日比で 88 ドル安まで下落する動きとなった。その後は下げ幅を縮小する動きとなり、小幅安で引けた。



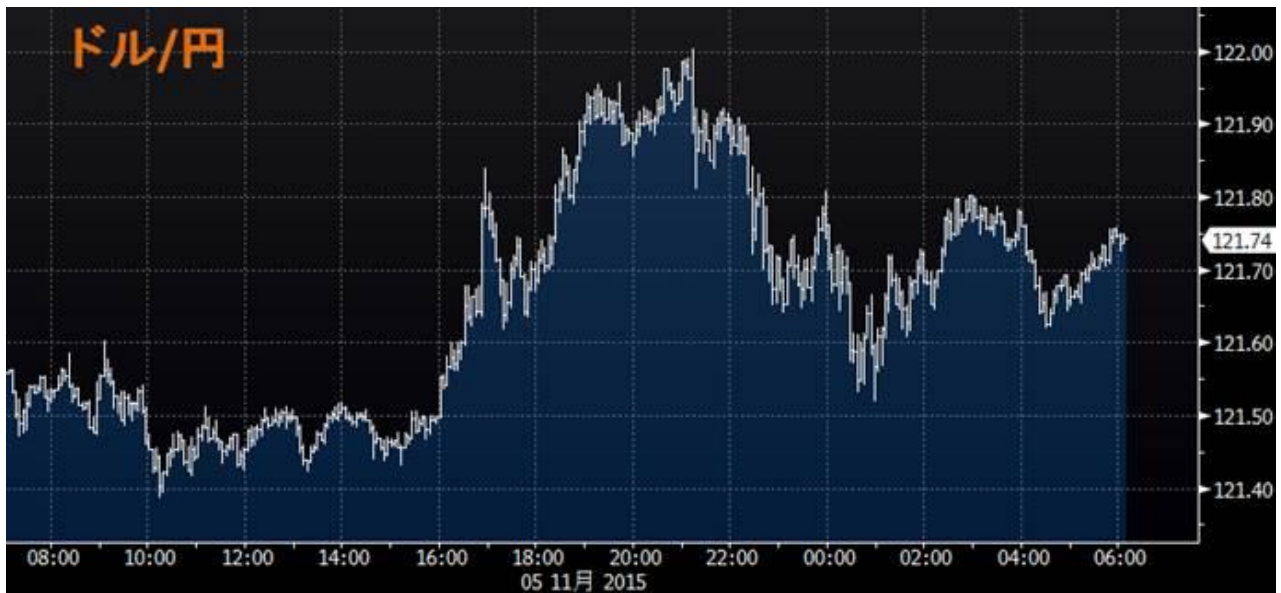
(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	121.75	121.91	121.53
EUR/JPY	132.46	132.72	131.99
GBP/JPY	185.14	186.35	184.98
AUD/JPY	86.98	87.31	86.78
NZD/JPY	80.46	80.86	80.42
EUR/USD	1.0881	1.0898	1.0858
AUD/USD	0.7145	0.7170	0.7137

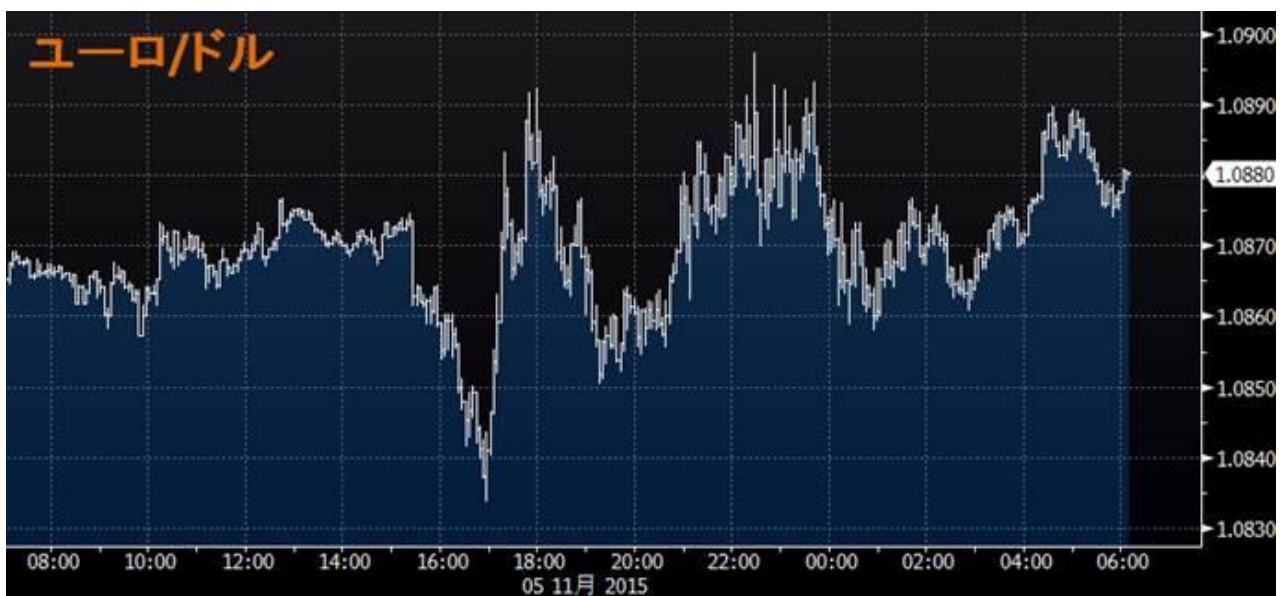
(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米雇用関連の経済指標がまちまちの結果となったものの、やや反応は限定的となった。そして、株価が下げ幅を拡大する動きとなったことから、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。その後は、株価が下げ幅を縮小する動きとなったことから、値を戻す動きも見られたが、米雇用統計を控えて限定的な動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。